

うれしの 市議会だより

令和7年
(2025)
4月25日発行
vol. 77

発行・嬉野市議会

編集・議会広報編集特別委員会

〒849-1492

佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲1769番地

TEL 0954(66)9127 FAX 0954(66)2887



令和7年 第1回定例会

当初予算	2～3
議案のなかみ	4
事業のなかみ	5～8
その他の予算・人事・陳情	9
討論・賛否表	10～13
一般質問	14～23
議員とかたろう会	24～25
委員会活動	26～27
トピックス	28



210億円

対前年比 1%減



当初予算

議案のなかみ

事業のなかみ

その他の予算

討論・賛否表

一般質問

議員とかたろつ会

委員会活動

トピックス

令和7年第1回定例会は、2月28日に召集され、3月21日まで22日間の日程で開催されました。

今議会では、報告2件、専決処分の承認を求めるもの1件、条例の制定及び一部改正、廃止など16件、市道の認定等2件、令和6年度の一般会計補正予算を含む補正予算5件、令和7年度嬉野市一般会計予算を含む当初予算4件、人権擁護委員候補者の推薦について2件、また追加議案として、旧医療センター跡地「伝染隔離病棟土壌調査業務」の補正と「市道永尾線地すべり災害復旧事業」の財源の変更と併せた事業費の補正、嬉野市教育委員会委員の任命についての2件、また発議4件の全部で38件が上程され、慎重審議の結果、令和7年度嬉野市一般会計予算に対し修正案が提出され、その他の議案と合わせ可決、承認されました。

フロントヤード等改革事業に9127万円

一般会計当初予算

令和7年度の一般会計当初予算は、昨年度より額で2億700万円、率で1%減の210億円が計上されました。

歳入

市税のうち個人市民税は、令和6年度に定額減税が実施されたことにより減税分を減額して予算計上していたが、令和7年度は約1億円の増で、定額減税前の決算額と同程度の歳入を見込んだ予算となっています。また、固定資産税は、新幹線関係施設等の精査による増と企業の設備投資等による償却資産の増で、市税総額では前年度より1億7215万円、率で6.6%増の28億24万円となります。地方交付税は1億円、率で2.2%増の47億円、ふるさと応援寄附金などの寄附金が7億円、率で23.3%減の23億円、また繰入金のうち財政調整基金繰入金は、5103万円減の12億6100万円、新庁舎建設財源としての公共施設建

設基金繰入金は、5億6600万円となっています。

市債は令和6年度に新庁舎建設財源として発行した合併特例債の減額が主な要因となり、前年度より2億4600万円減の16億3390万円を発行する予定です。

歳入全体では、特に寄附金においては、昨年度当初より大幅な減、繰入金が前年度当初より、2205万円、率で0.7%増の3億5904万円となり、自主財源は3億3018万円、率で3.4%減の93億8202万円となります。

歳出

歳出については、人件費や扶助費などの義務的経費が全体の38.1%の79億9230万円、農林、建設などの災害復旧事業や市道、農道などの改良事業費を含む投資的経費が15.8%で33億1708万円、物件費や補助費、積立金などのその他経費が46.1%で96億9062万円となっています。

科目別では、人件費などの

借金と貯金

今年度の市債（市の借金）返済のための公債費には、元金と利子を含め12億1338万円が計上されており、7年度末には106億2909万円程度の残高になると見込まれています。

また、基金（市の貯金）は、今年度16億776万円程度を積み立て、33億5900万円程度を取り崩すため、7年度末には残高が82億910万円程度になると見込まれています。

第1回 定例会

当初予算総額

令和7年度 当初予算会計別総括表

会計名			6年度当初予算	7年度当初予算	増減率
一般会計			212億700万円	210億円	1%減
特別会計	国民健康保険		36億5,087万円	35億7,226万円	2.2%減
	後期高齢者医療		4億6,467万円	4億9,566万円	6.7%増
企業会計	下水道事業	収益的収入	8億2,190万円	8億5,392万円	3.9%増
		収益的支出	8億1,429万円	8億3,585万円	2.6%増
		資本的収入	4億7,970万円	4億5,538万円	5.1%減
		資本的支出	6億2,757万円	6億2,484万円	0.4%減

市民一人当たりこれだけ歳出 人口 24,412人 (令和7年2月末)



1人当たりの歳出総額
860,233円

民生費
263,388円

土木費
52,410円

公債費
49,704円

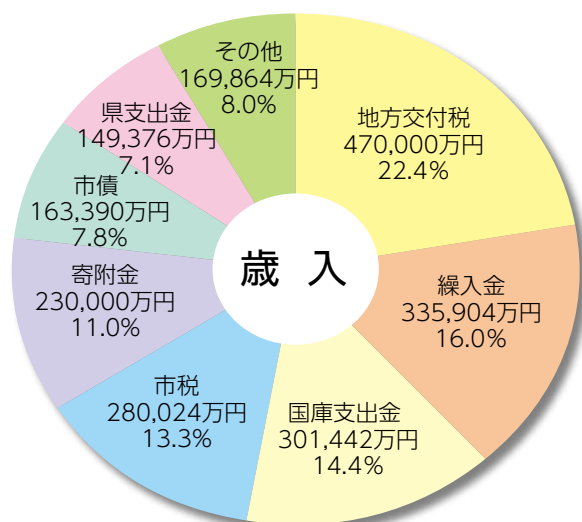
教育費
72,266円

農林水産業費
35,036円

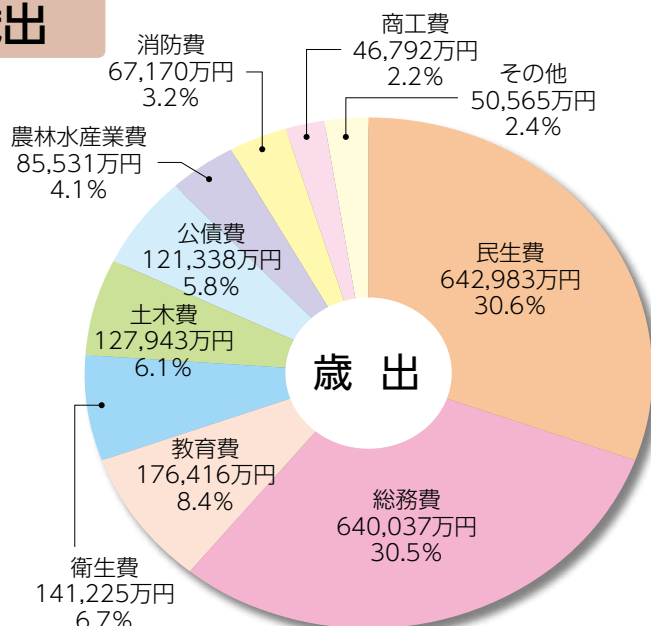
商工費
19,168円

令和7年度 一般会計当初予算の内訳

歳入



歳出





議案のなかみ



当初予算

議案のなかみ

事業のなかみ

その他の予算

討論・賛否表

一般質問

議員とかたろつ会

委員会活動

トピックス

志田焼の里博物館条例の一部改正について

志田焼の里博物館は、操業当時の生産工程を残す博物館として、見学や陶芸体験などを提供している施設です。今回、燃料や原材料等の物価高騰により体験料の一部を改正する条例が可決されました。詳細な料金は、志田焼の里博物館へ直接お問い合わせ下さい。
TEL 0954-66-4640

問 料金はどのように変わるか。

答 入館料は変わらない。体験料等が一部改定される。



▲ にぎわう体験の様子

いきいきデイサービスセンター条例の一部改正について

いきいきデイサービスセンター（湯っくらーと）は、介護保険の対象者や要支援、要介護に該当しない概ね65才以上で高齢者の健康と福祉の増進及び認知症等の予防を目的とする施設です。

今回、燃料費等の価格高騰により使用料（1回）700円を1,000円に改正する条例が可決されました。

問 使用料の変更はいつからか。

答 令和7年10月1日から。

※生きがいデイサービス（塩田老人福祉センター）の使用料も同様に改定の予定。



▲ 湯っくらーとの様子

嬉野市消防団条例及び関連する条例の一部改正について

嬉野市消防団の組織再編と消防団員の処遇改善、また、長期勤続となる団員の退職報償金が増額されます。団員の士気高揚に繋がることを期待します。

問 組織再編の内容は。

答 定数を1,050人から900人に改める。部の統廃合も検討していく。

問 処遇改善の内容は。

答 出勤手当・訓練手当を出動報酬に変更し、一律の支給額から出勤時間に応じた報酬額とし増額される。勤続年数35年以上の退職報償金が増額される。



▲ 地域の安全・安心のために

嬉野市税条例（入湯税）の一部改正について

観光振興の財源確保を目的とし、徴収する入湯税を、宿泊客は150円から250円に、日帰り客は50円から100円に引き上げられます。

問 変更はいつからか。

答 令和7年10月1日からである。

問 入湯税の使い道は。

答 入湯税はこれまで、観光費に半分、残りの半分以上を環境衛生費と消防費に充当している。今回の引き上げによる入湯税増収分は、観光費に充当する予定である。具体的な施策等は未定である。



▲ 効果的な使い道を



事業のなかみ (P5～ P8)

コールセンター導入業務

2,387万円

電話による問い合わせ窓口の一元化に向け、専任のオペレーターの対応により住民サービスの向上が図られます。

問 対応時間は。

答 平日は8時半から18時を想定している。土日祝日も同様の電話対応が可能となる予定。

問 問い合わせに対して、たらい回しにならないか。

答 ワンストップで対応できるように、FAQに落とし込み、サービス向上に努める。

※FAQ…よくある質問とその質問に対する回答



▲ スムーズな対応へ

フロントヤード等改革事業

9,127万円

新庁舎となる嬉野庁舎と継続利用する塩田庁舎の双方を活用し、「行かない窓口」「書かない窓口」「回らない窓口」の実現が図られます。

問 具体的な取組みは。

答 自宅からできる申請・手続きの拡充、ライフイベント別ワンストップ窓口の構築、嬉野庁舎・塩田庁舎間のリモート相談ができるシステムの導入などである。

問 財源の内訳は。

答 国の自治体フロントヤード改革モデル事業の採択を受け、全額が国庫負担となる。



▲ 便利な窓口になることを期待

新庁舎災害対策室映像表示システム整備事業

1,342万円

新庁舎の災害対策室で使用する映像表示システムの整備に係る費用が計上されました。迅速な情報収集と状況把握が可能となり、より具体的で適切な災害対応が期待されます。

問 システムの詳細は。

答 固定100インチのディスプレイ（4分割まで）と、可搬型55インチのディスプレイを設置し、マルチモニターを用い、大画面での投影や分割表示により、必要な複数の情報を同時に閲覧できるシステムである。



▲ これまでの災害対策本部

消防施設整備事業

8,870万円

消防機庫建設（第5分団第1部、不動山）、有蓋防火水槽設置、消火栓改修、消防積載車・小型動力ポンプ更新に係る予算が計上されました。消防力の維持・向上が期待されます。

問 消防機庫（不動山）の建設場所は。

答 不動ふれあい体育館の敷地内である。

問 建設スケジュールは。

答 現在、設計中であり、令和7年度中に建設を開始する予定である。



▲ 機庫建設予定地

定期予防接種事業（带状疱疹ワクチン接種も対象に）

1億2,922万円

令和7年度より带状疱疹ワクチンは定期接種となりました。65歳以上で5歳刻みの方が対象となります。

問 実施予定は何件か。

答 生ワクチンが100件、組換えワクチンが200件の予定である。

問 自己負担額は。

答 生ワクチン（1回接種）で2,500円、組換えワクチン（2回接種）で1回は6,000円となる。

問 対象者へのお知らせは。

答 市より個別通知を行う。



▲ 带状疱疹の予防に

戸籍振り仮名通知事務

918万円

戸籍法の改正により戸籍の記載事項に、新たに氏名のフリガナが追加されることになりました。

問 今後の手続きの流れは。

答 嬉野市に本籍地がある方に対し、戸籍に記載される予定の氏名のフリガナを通知し、内容を確認してもらう。変更が必要な場合には変更届けが必要となる。

問 フリガナの変更届けの期限は。

答 令和7年5月26日から1年以内の届出が必要である。



▲ 通知が来たら忘れずに



給食センター空調設備整備事業

1億4,698万円

食中毒の予防及び調理員の労働環境の向上を図るため、学校給食センター調理室等の空調新設工事費が予算化されました。

問 空調が新設される場所は。

答 塩田給食センターは調理室・揚げ物室・和え物室・洗浄室。嬉野給食センターは調理室・洗浄室である。

問 工事期間は。

答 給食提供に支障がない長期休業期間中に計画的に工事を行う予定である。



▲ 子どもたちの更なる食の安全を

観光魅力向上事業

650万円

収益性が高い新たな販路開拓に繋げることを目的として、神奈川県相模原市にある「LCA国際小学校」の取組みを介して、当市地域資源を体験できるツアーを造成するための委託料です。

問 事業の対象者と予定期間は。

答 「LCA国際小学校」児童・生徒及び保護者と関東在住一般家族。
12月中旬、3泊4日の予定である。

問 財源は。

答 自主財源だが、観光庁への補助申請中であり採択となれば変更もある。



▲ 前年度、鹿鹿市の体験の様子

農業振興地域整備計画策定

650万円

農業経営者の高齢化や新幹線開通等、農業を取り巻く環境も変化しており、新しい農作物の作付普及やハウス団地構想等の新たな農業政策が進められている中で、現行の計画が現状と即したものとえず、更新する必要があるため予算化されました。

問 どのような計画か。

答 1年目は現地調査及びヒアリングをして資料収集・整理を行う。

問 2年目は。

答 協議資料を作成し、県との調整とデータベースの整備を行う。



<https://www.maff.go.jp/kinki/keikaku/nousonshinkou/yurionouti/nousin/index.html> (出典：近畿農政局 web サイト)



不動山地区、下野・下吉田地区乗合タクシー実証運行事業 254万円・48万円

不動山地区と下野・下吉田地区では、現在、廃止路線代替バスが運行されています。今後、地域に適した形での乗合タクシーによる実証運行が行なわれます。

問 運行形態は。

答 朝は定期便で、不動山地区（1便、2便）、下野・下吉田地区（1便）。他は予約制の乗合タクシーとなる。

問 実証運行はいつからか。

答 令和7年10月1日からの半年間。



▲ 持続可能な公共交通を目指して

猫の避妊及び去勢助成 55万円

これまで、飼い猫への避妊・去勢手術への助成はありましたが、今回新たに、猫の糞尿による環境被害や殺処分をなくすため、野良猫への避妊・去勢も助成の対象となりました。

問 助成内容は。

答 野良猫に対し、避妊手術2万円、去勢手術1万円である。

問 どのような手続きとなるのか。

答 区長や地域で保護活動をされる2人以上のボランティアの申請に基づき助成する。



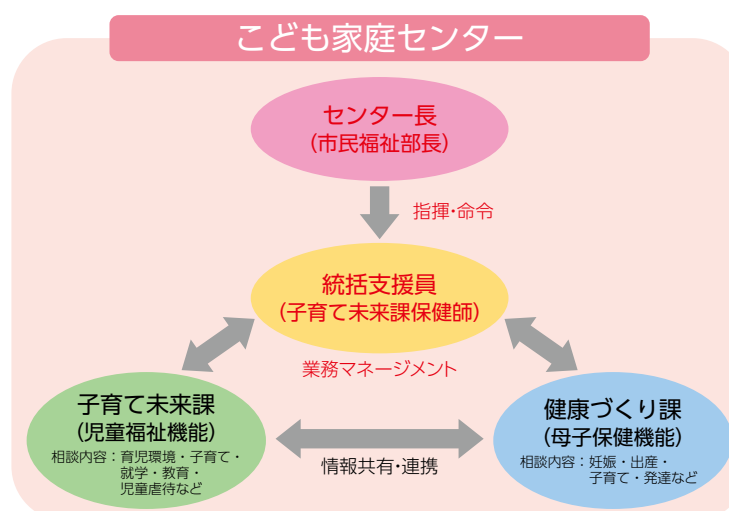
▲ 地域の衛生環境の向上に期待

家庭相談員（子ども家庭総合支援拠点事業） 1,108万円

子育て未来課と健康づくり課内に子ども家庭センターを設置し、子どもと子育て家庭（妊産婦を含む）の福祉に関する包括的な支援を切れ目なく提供することを目的に組織体制が見直されました。今後も相談業務の充実を期待します。

問 どのように変わるのか。

答 令和7年度からは、児童虐待の専門相談員が新たに配置され、児童虐待を含む養護相談や養育相談など多岐にわたる相談に対応される。



▲ 相談体制の充実を

主な令和6年度3月補正予算

項 目	金 額
塩田庁舎等利活用基本計画策定支援業務	84万円
ふるさと応援寄附金	△7億円
低所得者支援金 (令和6年度こども加算臨時給付)	1,024万円
低所得者支援金 (令和6年度非課税世帯臨時給付)	9,340万円
さが酪農経営向上緊急支援事業	480万円

その他の当初予算

項 目	金 額
防災行政無線整備事業	7,146万円
総合計画・総合戦略・人口ビジョン策定業務	1,290万円
認定こども園等整備事業	5,316万円
サクラ並木再生プロジェクト事業	200万円
全国お茶まつり嬉野市準備委員会	500万円
市道内野山木場線地すべり災害復旧事業	2億9,300万円
肥前吉田焼ランドマーク移設等	800万円

その他の主な条例

- ・嬉野市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例について
- ・嬉野市営駐車場条例の一部を改正する条例について
- ・嬉野市体育施設条例の一部を改正する条例について

人 事

人権擁護委員候補者の推薦に適任と認め答申しました。

- ・大 曲 康 智 氏 (嬉野町下宿)
- ・江 口 知佐子 氏 (嬉野町吉田)

教育委員会委員の任命

- ・永 田 由 美 氏 (塩田町)



陳 情

議会の審議において、どの議員が、どの議案に「賛成」「反対」「棄権」したかがわかるような図をつくり、自治体のホームページで公開することに関する陳情

東京都八王子市館町 伊 藤 豪 氏

市民と共に「いじめ」「自殺」「児童虐待」「犯罪」等を減らす取り組みについての陳情

東京都八王子市館町 伊 藤 豪 氏

国道34号線俵坂地区の歩道設置のお願い

嬉野市 俵坂地区自治会 会長 野 口 栄 次 氏 他25名

フットサルができる市内体育館の環境整備に関する陳情

嬉野市 内 藤 洋 介 氏

政党機関紙の庁舎内勧誘行為における庁舎管理規則の徹底を求める要望書

東京都足立区 パフハラから職員を守る都道府県民の会連絡会 事務局長 佐々木 一也 氏



討論

賛成 8

反対 7

可決

嬉野市一般会計予算の修正について

提案者 大串 友則 議員

賛成者 水山 洋輔 議員 古川 英子 議員 阿部 愛子 議員

令和7年度嬉野市一般会計予算に計上されている、うれしの茶交流館の指定管理委託料について、これまでの経常経費との整合性を持たせるため、金額の一部を修正する必要がある。(3,944万円を3,478万円に修正し、予備費を2,000万円から2,465万円とする)



川内 聖二 議員

反対

大串議員から提出された修正動議に関しては反対である。修正した数字に関しても余りにも無責任と思う。修正動議を提出前に、執行部へ数字の確認を行うべきだったと思う。そして、当日に修正した数字の意味を説明されても慎重に精査することもできない。今回、唐突に数字の説明をされたことには残念。よって反対の意を表す。

賛成

指定管理料3,944万円は令和5年度の決算から約2,000万円、令和6年度の補正予算と比較して約1,000万円増えており指定管理によるコスト削減効果が十分であるとは言い難い。修正案は、取り組む経費にも考慮しており、令和7年度は使用料や自主事業の増収も見込まれる。減額分は予備費に計上し、運営経費において必要に応じて補正予算で計上もできる。よって賛成討論とする。



水山 洋輔 議員



森田 明彦 議員

反対

指定管理者には応募4事業者の中で適切・公正な審査をもって選ばれ、先の議会で承認された。今回の予算計上に関し、所管委員会でも十分審議され、議案質疑においても熱心に議論がなされ、それ以上の異論は出なかった。単なる事業費の減額と違い、契約相手がいる事業であり、今回の修正動議の意図を図りかねる。よって反対の意見とする。

指定管理の目的は住民サービスの向上及びコスト削減を図り、民間のノウハウや企画力・管理手法を活用し、中長期的な経営ビジョンを持って施設を運営できると言われている。嬉野市民の税による一般財源を用いての予算である。令和6年度の状況を踏まえ修正案が提出されている。民間業者の経験と知恵を活かし、集客の増加による収益増を目指していただきたい。よって賛成討論とする。

賛成



古川 英子 議員



宮崎 良平 議員

反対

指定管理者として、過失も不備もなく、上限内で根拠を持ち必要経費として計上されている、なんの瑕疵もない民間事業者の予算案に、都合のいい根拠だけを正しいと主張し修正案を出すとは、指定管理制度の根幹を揺るがすものであり、また今後の市の信用だけでなく、事業者の社会的信用力さえも損なうことである。よってこの動議に反対する。

指定管理料は令和5年度の決算額と比較して約2,100万円の増となっている。志田焼の里博物館や市営公衆浴場また「楠風館」より4倍超の指定管理料は市民施設の常識からかけ離れている。公共施設の運営には、市民の理解と支持が不可欠である。高額な管理費が市民に与える影響を考慮して透明性・公平性のある説明が必要である。よって減額修正案に賛成する。

賛成



芦塚 典子 議員



諸上 栄大 議員

反対

発議第4号について反対の立場で討論する。
今回の提案理由では、これまでの計上経費との整合性を持たせるためとの理由で説明がなされたが、その数値的根拠及び、積算根拠において、疑問が残る状況であり賛成できない。よって、反対の意を表する。

指定管理料3,944万円の設定額が高額で適正価格ではない。市民への説明ができないし、この指定管理料では、市民が納得しない。提出された原案が全て正しいとは、限らない。仮に正しいなら議会は必要ない。提出された原案が適正な価格なのか、公平性があるのか、透明性があるのかなど審議することが、そして、おかしいことはおかしいと正すことが我々議員の責務である。よってこの修正に賛成する。

賛成



増田 朝子 議員



諸井 義人 議員

反対

発議第4号修正案について反対の立場で討論する。
今回のプロポーザルの手続き及び積算の手続きも正当に行われているので整合性が取れていないとは捉えることができない。よって、修正動議に反対である。

12月の指定管理については反対の立場であった。
物価高騰で市民の生活が苦しい中で一般財源から出るのは考えなければならない。よって動議に賛成する。

賛成



阿部 愛子 議員



梶原 睦也 議員

反対

今回の修正動議が可決された場合、チャオシルさらには本市の入札制度・契約等に大きな悪影響が出ると考える。提出者はそのことまで考えて提出したのかはなはだ疑問である。また、予算を修正後必要となれば予備費から出費すれば良いなどと簡単に言われていることにも疑義を感じるためこの修正動議には反対する。



田中 政司 議員

反対

修正しなければならない理由がわからない。
修正の根拠となる金額の数字に違和感がある。チャオシルの運営については、施設を有効活用し嬉野茶の振興、市民サービスの充実を図るためには指定管理者での運営が適切と言ってきた。その指定管理料については令和6年度の予算をもとに積算されている。有効活用を考えればコスト削減だけが良いことではない。よって動議には反対する。

令和7年第1回 定例会議案賛否表（主なもの）

○は賛成 ●は反対 議長は採決に加わりません

議案番号	議 案 名	番 号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
		結 果	表 採 決	水山 洋輔	大串 友則	古川 英子	阿部 愛子	山口 卓也	諸上 栄大	諸井 義人	山口 虎太郎	宮崎 良平	川内 聖二	増田 朝子	森田 明彦	芦塚 典子	田中 政司	梶原 睦也
議案第2号	嬉野市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	嬉野市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例及び嬉野市消防団条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	嬉野市税条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	嬉野市営駐車場条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	嬉野市いきいきデイサービスセンター条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	嬉野市志田焼の里博物館条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	嬉野市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	令和6年度嬉野市一般会計補正予算（第8号）	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第4号	議案第25号令和7年度嬉野市一般会計予算の修正案について	可決	8:7	○	○	○	○	○	●	●	○	●	●	○	●	○	●	●
議案第25号	令和7年度嬉野市一般会計予算	修正可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号	令和7年度嬉野市国民健康保険特別会計予算	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	令和7年度嬉野市後期高齢者医療特別会計予算	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	令和7年度嬉野市下水道事業会計予算	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号	令和6年度嬉野市一般会計補正予算（第9号）	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第3号	ふるさと納税制度の持続的発展を求める意見書について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



諸上 栄大 議員

諸上 病児保育については、第2期嬉野市子ども・子育て支援事業計画書の提供体制・確保方法の考え方に「市内の施設の整備の検討を」とあり、現在、嬉野町で事業展開をされているが、塩田町では行われていない。市内の施設整備の検討とい

諸上 「必要ときに定員がオーバーして利用できなかった。武雄市でも実施されているが、市内勤務であり武雄を紹介されても難しい。」と利用者の声が多くある。利用ニーズが今後高まると予測するならば、受託希望事業所等の調査も行い整

諸上 協定は、自治体単独では実現できない施策を実現できるというメリットがある反面、財政負担のみ行い、あとは民間団体に委ねてしまうと

市長 問題意識は伝え続けてきている。事業目的が達成することが難しいと判断した場合には、連携解消とまではいかなかったも、連携に基づく事業の精査、幾らか経った時にはチェックポイントを設け、連携に基づく事業を続けていくこと自体が

妥当なのかどうかの経営判断はしていくべきと考える。



「市政を問う！」 一般質問

14議員が質問

諸上 栄大 議員 p14

諸井 義人 議員 p15

森田 明彦 議員 p16

梶原 睦也 議員 p16

古川 英子 議員 p17

芦塚 典子 議員 p18

水山 洋輔 議員 p18

山口虎太郎 議員 p19

山口 卓也 議員 p20

阿部 愛子 議員 p20

田中 政司 議員 p21

増田 朝子 議員 p22

大串 友則 議員 p22

宮崎 良平 議員 p23

当初予算

議案のなかみ

事業のなかみ

その他の予算

討論・賛否表

一般質問

議員とかたろつ会

委員会活動

トピックス



諸井 義人 議員

農業の地域計画の進捗は

答 農業委員会に議案として提出した

農業委員会事務局長 国の目標では、平坦部で80%、山間部で60%となっているが、塩田地区では67%、吉田地区で26%と厳しい状況にある。内閣府から福岡に来て

いる伝道師やJ・Aと協働して研修を深め推進して

いく。
諸井 農業の担い手育成はどうするか。
農業委員会事務局長 地域の跡取りや移住者に対してしっかりフォローアップしていく。
農業政策課長 新規就農者への国の補助事業を活用し支援していく。
諸井 25年ぶりに改正された食料・農業・農村基本法を農業政策にどう反映していくのか。
市長 関係機関と連携しながら、国民の食料である農産物の安定供給に向けて取組みを強化していく。施設園芸やお茶など担い手が稼げる農業を実現

していく。
諸井 環境負荷に対して、鶏や豚、牛等の家畜の排泄物の有効活用はできないか。
農業政策課長 牛糞たい肥などの家畜排泄物を活用した有機物の資材は農業生産の基盤であり、



▲10年後の農業経営について真剣に考えよう！



病児保育の拡充の考えは

答 社会環境等の変化を踏まえ対応したい

う点で、この質・量の増加について、今後の考えを伺う。
子育て未来課長 利用者の数は増えている。今後のニーズや子育てを取り巻く社会環境、価値観など、そのような変化も踏まえながら対応していきたい。

備・質・量の確保が必要と考えるがいかがか。
市民福祉部長 需要と供給のバランス等もあり、また、そういうふうな事業者が新たに出てくるかという調査もしなければならぬと思う。その辺を見据え、予算もかかるため勉強をしていきたい。

いうマンネリ化やリスクもあると考える。多種多様な企業体や学校、自治体等と連携協定を結ばれている嬉野市においては、そのようなことが無いよう、見直しを行いながら市民生活やサービス向上につなげるべきと考えるがいかがか。



▲病児保育を身近に利用できる環境を



梶原 睦也 議員

梶原 学校体育館は子どもたちの教育の場であり災害時には地域の避難所として重要な役割を担う国の臨時特例交付金を活用し空調設備の整備を進めるべきではないか。

市長 昨今の猛暑の状況や、昨年1月の能登半島地震など、厳冬の災害

教育長 夏場の体育館使用については色々配慮している。大型の扇風機を幾らか入れており、それで十分と思う。

梶原 担当課として学校体育館への避難所としての整備は万全と考えているか。

総務・防災課長 収容力

ている。全ての学校体育館に整備するのは現実的に無理ではあるが、必要性に応じリストアップして整備する考えはないか。

市長 一つ一つ精査しながら、慎重に検討を進めべきと思う。

の自己負担分の無償化を提案するがいかがか。

市長 子育てにお金がかかるのは理解できる。将来の安心という観点からも無償化に踏み切りたいとの思いはある。財源の創出も含め議論を積み重ね、完全無償化に移行する糸口をつかめればと思う。

その他の質問
野良猫対策について



特殊詐欺等被害についての把握と対策は

答

県や県警から取得し、広報と啓発を行う



森田 明彦 議員

森田 最近の嬉野市民における特殊詐欺等被害について把握はされているか。また、その対策はどのような行っているか。

市長 本市として把握は報道および、県や県警から発信される情報から取得している。市の対策としては広報媒体での啓発に加え、各種会合等での講話の際、市民への情報提供を行っている。

森田 県警や金融機関など官民連携した取り組みはできないか。

総務・防災課長 警察署所管ごとの防犯協会を通じた啓発や危機意識の醸成をしていく。

遺骨収集事業について

森田 市民から国の遺骨収集事業へのお尋ねがあったが、市ではどのような対応ができるのか。

福祉課長 厚生労働省の戦没者慰霊事業についての問い合わせの際、事業概要の説明と国への問い合わせ先の案内をしている。

森田 ホームページで詳しく案内されている市町もあるが参考にされてはどうかか。

福祉課長 本市のホームページにも掲載して広報を行い、厚生労働省の

ホームページにアクセスできるように努めて行っていく。

インバウンド観光について

森田 全国的にインバウンド観光が非常に好調であり、本市の観光戦略においても受け入れ態勢の充実を掲げている。

インバウンド観光客の推移と、今後どのような取り組みが予定されているのか。

観光戦略統括監 日本全体で昨年は3687万人と過去最高を記録。嬉野市においても2023年は2万5049人の外国

人の方にお越しいただいた。特定の国からの来訪に偏るのはリスクもあるので、幅広い国や地域の方にお越しいただけるよう、他自治体と連携したオンラインプロモーションや海外の旅行会社との商談会にも参加し、嬉野

市の観光資源のPRを行っている。



▲電話等でお金の話にはご用心





古川 英子 議員

5歳児健診の実施を

答 早期支援コーディネーターを中心に就学支援を行っている

古川 子どもの健診の状況は。
市長 1カ月、3〜4カ月、9〜10カ月、1歳半、3歳児健診がある。
古川 5歳児健診は言語理解や社会性が発達する時期であり、発達障害が顕在化しやすい時期で、この時期に健診を行うことで子どもの特性を早期に発見し、適切な支援につなげることが可能であると言われている。嬉野市では現状5歳児の把握をどのように行っているか。

教育長 令和元年より早期支援コーディネーターを中心に学校の特別支援のある体育館は避難所運営上、有効な手段と考える。ただ、空調整備については費用対効果という点で検討の余地が多い。
梶原 これまで国から3分の1補助はあったが、今回、特例交付金として体育館の空調整備に対し2分の1の補助が決定し

学級の担任、嬉野市の支援学校の先生、医師などの専門職を入れたメンバーで就学支援に関わる判定会議というものを毎年実施している。入学前に苦情や要望などここ数年なくスムーズに行われている。
古川 何人かは保育園、幼稚園に通わず小学校に入学されているということなので、全ての嬉野市の5歳児対象となるようにできないか。
市長 保育園、幼稚園、小学校など一緒になって1人の子どもをきちんと発育を見届けていく地域社会づくりを志向してま

いりたい。
常状麻疹ワクチン接種について
古川 4月1日より65歳以上で5歳ぎざみの対象者に接種費用の助成を開始され、本市でも素早い対応で予算計上されよかったと思う。ワクチンの種類と金額はどのようになっているか
統括保健師 2種類で生ワクチンが2500円。組換ワクチンが6000円の2回の自己負担である。
古川 65歳未満で接種後の支払いはいくらか。



▲5歳児健診の実施を

出展：5歳児健診マニュアルより（子ども家庭庁研究班の許可を得て掲載）

学校体育館に空調整備を

答 必要性を感じる

の可能性も十分ありうることから必要性を感じている。
梶原 市内小中学校体育館の空調設備の現状は。
教育総務課長 現在、学校体育館の空調設備は整っていない。
梶原 夏場の体育館使用について課題はないか。

ある体育館は避難所運営上、有効な手段と考える。ただ、空調整備については費用対効果という点で検討の余地が多い。
梶原 これまで国から3分の1補助はあったが、今回、特例交付金として体育館の空調整備に対し2分の1の補助が決定し

子ども医療費無償化について
梶原 物価高騰は特に子育て世代が影響を受けている。米価も倍増する中100円、200円が家計に大きく左右すると考えられる。子ども医療費



▲避難所ともなる学校体育館



水山 洋輔 議員

水山 災害発生時の飲料水の供給体制はどうなっているか。

市長 地域防災計画にて水道事業者との連携による応急給水の実施や必要な物資の備蓄・調達体制の整備を行っている。

水山 ペットボトル等の飲料水の備蓄量は。

水山 応急給水栓の整備状況は。

環境下水道課長 佐賀西部広域水道企業団により塩田小学校に1カ所設置してある。

水山 整備してある応急給水栓の目的は。

環境下水道課長 水道管の漏水事故の際に洗浄を

としての応急給水栓の設置について検討は。

総務・防災課長 応急給水の施設を市が保有することを考える必要性はあるが、水道事業を市が直接行っていないので要望の一つになる。

整備を行っていく。

水山 令和10年からの共用開始の計画だが。

新幹線・まちづくり課長 10年度までの目標で掲げており、誘致に向けた方向で作業を進めて行きたい。

水山 市長としてのどのように進めて行きたいのか。



茶業振興計画を策定すべきでは

答 市の最上位計画に位置付けている



芦塚 典子 議員

芦塚 当市の茶業は、主力産業であるので振興計画を策定し茶業振興に努めるべきではないか。

市長 総合計画と総合戦略等で茶業は戦略的に取り組んでいる。

芦塚 茶農家数と産出額は。

茶業振興課長 176戸。産出額約6億5千万円。

芦塚 この産出額では、茶業は危機的状況である。茶業の振興計画を創るべきではないか。

産業振興部長 市の総合計画に、担い手の育成やうれしの茶の振興・販売を明記して行っている。

芦塚 総合計画で茶業を

救うことができるか。

市長 市の最上位計画に茶業を位置付けている。生産振興だけでなく市民の誇り、文化庁の食文化ストーリー事業など受けお茶の振興が流域全体の暮らしを守っていくんだという位置づけでやっているの、計画がないというのは心外である。

芦塚 掛川未来創造プロジェクト40億円、安心・安全な伊勢茶、奈良県は19億円目標、島根県は茶道の文化振興など計画を立て、目標に向かい施策をして資本を投下している。それが行政ではないかと思うが。

産業振興部長 現在、碾茶や有機栽培への転換で佐賀県やJAと先進地視察を行い生産者と研修している。

芦塚 有機栽培や碾茶移行へ農水省の支援策があるが申請をしているか。

農業政策課長 県に申請をしている。

産業振興部長 碾茶に関して県から国へ申請をしている。

河川の災害対策

芦塚 令和3年8月の豪雨以降、入江川下流の河道掘削、八幡川の浚渫などの経過は。

建設部長 毎年雨期前になれば要望等、随時県に行っている。

芦塚 住宅かさ上げ工事や浸水対策工事に対する補助金について伺う。

総務・防災課長 個人の財産に補助は難しい。

芦塚 武雄市では200戸、既に活用しているが。

総務・防災課長 多分単独での予算とっている。



▲ 残したい茶畑と桜の風景





山口虎太郎 議員

温泉配湯管 現況調査結果は

答 まとめの段階である

山口 議会は、昨年配湯管現況調査予算審議で附带決議した。報告書の公表は。

観光商工課長 まとめの段階である。結果が出た後に公表となる。

山口 温泉水位低下で市の温泉資源保護はどうするののか。

市長 温泉所有者だけでなく市民の皆さんも含めた共通認識を持ち、限りある資源、保護に努める。

山口 配湯管調査で所有者へ適切な管理を促すとはどういうことか。

観光商工課長 無駄が無いように使っていたかどうか。

山口 温泉水位の低下と漏湯の因果関係はあるのか。

観光商工課長 過大な漏湯が源泉の水位が低下したとの因果関係はあると推察している。

山口 今回、新聞報道にて水位低下が40・8mと出たが、市の報告との違いはなぜか。

観光商工課長 市が取材を受けた数字ではない。海拔レベルで出された数字である。

山口 27年前、嬉野温泉の源泉について県の機関と調査された冊子資料がある。元は噴出温泉、湯源の型は湯壺で熱源は地下20m～45mにあると調査されている。

査資料に記載されているが、現在汲み上げ過ぎと理解しているのか。

市長 湯湯量・水位はモニタリングで把握している。現状では十分事態をコントロールできている。

農業について

山口 国の施策は規模拡大とスマート農業が推進されているが農業人口減の歯止め策は。

農業政策課長 今後は有機農業も含め関係機関と協議していく。

市長 一件一件の農家の所得経営に着目した支援の在り方を押し出していく。



▲ 温泉資源保護を急げ



高齢者社会について

山口 交通弱者の移動手段と、買い物弱者への支援はどうするか。

新幹線・まちづくり課長 ドア・ツー・ドア型のデマンドタクシーを本格化させたい。

飲料用応急給水栓 の設置について

答 市が保有することを考える必要性はある

総務・防災課長 5000㎡で5年保存水が1560本、7年保存水が792本、10年保存水が299本の合計2651本を備蓄している。また、販売している「うれしのの水」の在庫は、5000㎡が1320本、20㎡が82本ある。

行うための排泥管が主な役割だが応急給水にも対応している。

総務・防災課長 小学校の給水栓は、非常用の水源としての活用も可能だが、基本的には水道設備の維持管理施設と考えている。

水山 断水維持の飲料用

医療センター跡地活用について

水山 今後の跡地利用のスケジュールは。

新幹線・まちづくり課長 令和7年度は、立地適正化計画と都市計画マスタープランを見直し条件

市長 当初の計画とは少し異なった部分はあるが、一部売却、一部アウトドア施設、中央部は民間投資が公共施策であるのか、意見に耳を傾けながら具現化を図っていく。



▲ 災害時も安心できる水の確保を



山口 卓也 議員

山口 市内に70人程フットサルの関係者がおられるが、市内の体育館でのフットサルのスポーツ環境整備ができないか。

文化・スポーツ振興課長

以前、社会文化会館リバティで受入れをしていたが壁の破損が生じたことから現在はお断りしているが、フットサル利用を想定した仕様になっているので、今後は、一定のルールを設けた上でリバティでの受け入れの再開を検討している。

フットサルができるスポーツ環境の整備を

答 リバティの利用再開を検討する



阿部 愛子 議員

阿部 給食費の無償化について市の考えを伺う。

市長 国は小学校を念頭に地方の実情を踏まえ2026年度に実現する方針である。中学校への拡大も速やかに実現すると示されているので、情報収集を急いでいく。またアレルギーの子どもたち

総合計画に向けた課題・改善点について

山口 昨年1月に新NISAが開始されている。

金融教育や消費者保護（投資詐欺）の学習機会の提供について計画はいかがか。

市長 金融リテラシーの教育は消費者保護の施策と合わせて充実を図っていく必要がある。

山口 投資詐欺やSNSを通じた詐欺は若い方の被害割合が増えている。学校における教育の必要性があると思うが。

教育長 「生きる力の教

科書」を中心に指導していく。PTAの取組みとして親子で専門家の話を聞く機会を作られたり、

また校警連絡協議会でSNSの取扱いを話題にしたりしている。

山口 うれしの茶の生産振興・消費拡大に向けた碾茶（抹茶）の生産に向けて、市として強力にバックアップしてほしいが。

市長 市場動向も見極める必要がある。農林水産省の支援制度の活用も視野に入れ、情報提供に努めながら産地の新たな魅力につながると思うので支援していきたい。

公共下水道施設・農業集落排水施設の維持管理について

山口 埼玉県で道路陥没の事故があったが、市内に同じような大きな下水道管はあるのか。

環境下水道課長 幹線で大きいところは最大で60センチ。枝線になれば15センチから30センチである。

山口 老朽化対策と長寿命化対策の必要性と今後の計画は。

環境下水道課長 嬉野市では30年以上経過する施設はなく、老朽化はない。長寿命化

就学援助制度について

阿部 制度の利用について伺う。

教育長 令和6年度児童生徒数は1901名、就学援助制度を受けているのは101名で割合は増加傾向にある。

により機器の更新を随時図っている。



▲ フットサルを楽しめる環境を

その他の質問

山伏公園のトイレについて





田中 政司 議員

源泉保護の条例 を作れ

答 まずは源泉所有者でのルール作り

田中 大手の宿泊施設が嬉野に進出するとの情報がある。湯湯量が増えることが予想されるが、今後の対策をどうするか。

市長 旅館組合などの取組も含め節約の効果で、湯湯量は年末年始のピーク時に3000トン強であったのが現在は2800トン前後に下がりが水位も若干ではあるが持ち直しており、小康状態を保っている。

田中 そのような事を考えれば源泉保護の為、湯湯量を抑えていくなどの条例を制定すべきと考え

市長 配湯元と宿泊施設の運営会社の契約になると思っている。現状では1日当たりの適正と思われる湯湯量を超えており余力が無いと考えている。新規旅館の配湯についてはこれを禁ずるすべはないが、関係者の理解を得ることは難しいのではと思う。温泉資源の保護のためには源泉の水位を維持することが必要であり、湯湯量を適正な量に抑えていく事が必須である。

給茶機の設置を 県内の自治体などへ

田中 来年度、全国お茶

まつりが佐賀県で開催されるが現在の状況は。

市長 温泉法の権限者でない市が作った条例は、理念法にとどまってしまう。しかし、市民の皆様に源泉保護の認識を持ってもらうためには大変有用な部分もあり条例制定を視野に置きつつ、まずは源泉所有者の中でのルール作りが優先度が高いと考えている。市民の理解を求める段階になれば条例制定も選択肢になり得る。

茶業振興課長 茶品評会が8月、お茶まつりの式典・イベントなどが11月に予定されている。

田中 佐賀県で開催される全国お茶まつりを契機に県内自治体の学校や庁舎のロビーなどに給茶機を設置できないか。

市長 実行委員会と協議し提案したい。



▲ 温泉は嬉野の宝



給食費の無償化 を目指して

答 国の動向を見て

阿部 国の方針に市はどう考えているか伺う。

教育長 現段階では非常に厳しい状況である。国は具体的な内容を出していない。

阿部 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金、ふるさと応援寄付金を財源に使えないか伺う。

阿部 制度の拡充を伺う。

教育長 現在の基準の中で必要な家庭への対象項目の支援は出来ている。新入学時については、4月1日から2日までに必ず発送している。残りの方には10日前後にはお知らせするように変更した。

教育総務課長 就学援助



▲ 給食費の無償化を



大串 友則 議員

大串 過去の一般質問でも何度か取り上げてきたが、観光戦略を実行するためのアクションプラン作成の進捗状況は。

観光戦略統括官 今年度作成をしている途中である。商工会、観光協会との定例会を1カ月ないし2カ月に1回開催してお

実行計画である。観光戦略を作成する際は現場の声を聴くために計31団体に徹底的にヒアリング調査も行われていた。アクションプランも徹底的に31団体とも協議をすべきではないか。

観光戦略統括官 現在、作成しているアクション

いる。場合によっては観光協会、商工会以外の団体からも意見を伺う必要がありその際には、積極的に意見を伺う。

大串 観光戦略が作成されて間もなく2年が経過し、アクションプラン作成に時間を要していることで結構心配している。

戦略の内容等を確認できる。観光戦略は様々な方の多様なヒアリング等を基に作成をされており、そういった方と一緒に目標達成、そして構想の実現に向けて取り組む。



次期総合計画と 総合戦略の関係性は

答 行政運営やまちづくりの
基礎となる計画



増田 朝子 議員

増田 市の人口ビジョン計画では、2025年には、人口252,000人、交流人口265万人とあるが、現在人口24,225人、交流人口22,4万5千人だが、市長の所感を伺う。

市長 想定より早く人口減少が進んでいる状況にあると認識をしている。

増田 今期、残り1年弱だが、どのような取り組みをされるか。

市長 若い人たちが町で何か挑戦できるような取り組みには十分に力を入れていきたい。

増田 嬉野市第2次総合計画後期基本計画は、ど

のように評価・検証を行うのか。

企画政策課長 嬉野市への愛着度、定住意識、嬉野市へ住んでの幸福度を中心に市民アンケートなどでデータ検証と総合戦略の審議会、委員会等を通して評価、検証を行う予定である。また、各課からの事業の進捗などのヒアリングを実施し、次期総合計画の策定に生かしていきたい。

増田 総合計画策定にあたり、市民参画への方法をどのように考えているか。

企画政策課長 ワークショップを考えているが、

規模などは考えていない。

増田 SDGsを取り入れたワークショップや多くの市民が参加しやすい土曜日の午前や午後のワークショップの開催としてはどうか。

企画政策課長 参考にした。

増田 総合戦略の効果検証シートのホームページへの掲載はしているか。

企画政策課長 会議等の資料として掲載している。

増田 市民にもわかりやすいようにホームページに掲載してほしいがいか。

企画政策課長 外部委員会と検討したい。

増田 総合計画と総合戦略の関係性を伺う。

企画政策課長 どちらも行政運営やまちづくりの基礎となる計画と位置付けている。より具体的な取組、各分野の施策、今の総合戦略の部分については、総合計画とひもづ

けるような形で一体的に策定していく。



▲ 市民に分かりやすい計画を！





宮崎 良平 議員

地域猫活動についての考えは

答 長期ビジョンの策定を考えていく

宮崎 嬉野市において、過去5年間で犬・猫の殺処分数の現況は、**環境下水道課長** 市単位では把握してないが、佐賀県全体としての統計では年々減少している。

宮崎 一方で野良猫の騒音、糞尿被害等での相談がやまないという現況もある。そのような中、今年度の当初予算において野良猫の避妊・去勢手術の増額の予算が計上されている。ただ本気度が見えない。予算だけつけて結局、誰がその野良猫を捕獲して、誰が避妊・去勢手術に連れて行き、誰がその地域において長期

的に地域猫活動をしているのかという根本的な問題解決に向けたビジョンや計画、また体制が全く整ってないと考えるのがいなか。

建設部長 県内の取り組みでいる事例を基に今回要綱の作成を考えている。取り組みまれている協議会担当課に出向き学んでいきたい。

宮崎 地域の衛生環境と飼い主のいない猫を無くしていく。それには行政市民、また獣医師、実績のある地域猫活動団体等と一体となって長期的に取り組む必要があると考えるがいなか。

市長 犬・猫と共生ができていく社会へ、また適切に管理することで失わなくてもいい命を守っていく、そのような長期ビジョンの策定を考えていく。

宮崎 それと「飼い猫の無秩序な繁殖を抑制し、適正な飼育管理を図るため」ということで目的がホームページに掲載されているが、そうであればこれは犬においても多頭飼育、ペットシヨップ等での安易な購買からの遺棄等、問題が山積している中で、犬に対しての避妊・去勢手術というものが考えられないのか。



▲ 長期的な取り組みを

市長 今後の大きな方針を決めていく中で、既にやっている市町の効果、検証も踏まえながら、一つ一つ判断していきたい。

その他の質問

- ・ ペットツーリズムについて
- ・ 市内ゴミ袋の広告掲載について
- ・ 市長の公約について

現在の観光振興はどのような状況か

答 観光戦略に基づき施策を実施している

り、その中で協議を続けているため議事録等はない。

大串 観光戦略を実行するためにはアクションプランが必要。アクションプランとは目標達成までのステップを明確に示した計画表で、戦略を具現化し、行動に移すための

プランは、そのまま継続的に執行していくと思っではおらず、随時見直しを図っていききたい。現状は、5つの基本方針に対して、基本施策は30の観光戦略がある。その施策1項目当たり、複数項目のアクションプランの項目立てということをして

今後の課題解決、そして観光戦略の最大の目的の年間観光消費額を175億円にするという目標に向かって、力を合わせて達成してもらいたい。

市長 観光戦略に基づく具体的な施策についてはホームページ等でも公開しており、嬉野市観光



▲ 積極的な観光振興に期待！



議員と かたろう会を開催

令和6年11月5日から

8日にかけて各地域コミュニティ単位で「議員とかたろう会」を開催しました。皆様からたくさんのご意見やご要望をお聞きし、執行部へ伝えましたので、その一部を報告します。なお、全てのご意見などは市議会のホームページに掲載していますのでご覧ください。

問

区役等で市道の法面の除草作業を行っているが、高齢化で厳しい現状である。今後の市の対応は。

答

【建設課】

市道の除草に関しては、行政区長を通じて相談してもらえば道路作業員により除草の予定をしている。実施時期については希望に添えない時期もある。

問

イノシシの被害が多いのでワイヤーメッシュ等の補助増額はできないか。溝等に大きな石を落とされ苦慮している。市での対応を求める。

答

【農業政策課】

検討する。

問

地域農業において担い手不足、休耕田対策で苦労している。

答

【農業政策課、茶業振興課】

農業用施設整備事業補助金又は多面的機能支払交付金事業にて対応可能。茶業においては、荒廃しない対策として茶園を伐根し農地とする補助事業を実施している。





問 猛暑酷暑の対策及び避難所対策として学校体育館へのエアコン設置はできないか。

答 【教育総務課】

多額の費用を要するため、慎重に検討を進めていきたい。

問 道路の白線や停止線が薄くなっている箇所が多数ある。またカーブミラーの設置等の調査や整備ができないか。

答 【総務・防災課、建設課】

市道の白線については、建設課で順次対応していく。市道のカーブミラーについては、地元要望も多いため優先度等を見ながら対応していく。

問

塩田庁舎利活用において図書館の整備充

実は考えているか。

答 【企画政策課】

現在、塩田庁舎利活用検討委員会において塩田庁舎及び周辺公共施設の活用や機能再編等の検討をしている。図書館の在り方についても検討委員会で最終的に市の方針を示す予定。

問

敬老会については、物価高騰により開催が難しい。補助金のかさ上げと公的施設で飲食ができるように施設の規約の緩和はできないか。

答 【福祉課、施設管理各課】

塩田公民館、吉田公民館、市民センターでは飲食を制限していない。敬老会の補助金額と対象者については地

区と一緒に考え直す時期に来ている。

問

東吉田の工業団地はどうなったか。また地権者への説明はどうなるのか。

答 【広報・広聴課】

市の方針が決定次第速やかに地権者説明会を開催する。

問

新幹線嬉野温泉駅やうれしのまろく等に賑わい創出のためのピアノを置けないか。

答 【新幹線・まちづくり課】

新幹線嬉野温泉駅に確認したが設置スペースや維持管理の面で断られた。まろくアイズにおいても設置スペースや維持管理の面、また、静かにゆっくりくつろぎたいお客様もいる

のでピアノの設置は考えていない。

問

子どもたちが屋内で安全に遊べる場所（児童館等）の確保は考えているか。

答 【子育て未来課】

現在は老人福祉センター内に子育て支援センター、楠風館内にこどもセンター（リユッケ）を設置し、子どもたちが安心して遊び、保護者の方々も交流できる場所を提供している。しかし、手狭で駐車場の確保にも苦慮している。移転も視野に入れているが多額の費用を要するため、慎重に検討している。

委員会 動く!!

当初予算

議案のなかみ

事業のなかみ

その他の予算

討論・賛否表

一般質問

議員とかたろつ会

委員会活動

トピックス

付託事件名「ふるさと納税等について」

総務企画常任委員会

調査理由

昨今のふるさと納税の傾向や実際の現場の状況・意見等を把握するために、ふるさと納税運営業務を委託する企業を訪問し調査した。

委員会の意見

ふるさと納税支援業務に関しては、民間事業者の独創的なアイデアや見せ方、行き届いたサービスを發揮して頂くことで、本市の寄附額の確保に貢献して頂いている。独自に作成されている冊子は、嬉野市の広報誌としての効果もあり、今後も充実した返礼品のメニューを検討していく必要がある。

ふるさと納税は、地方自治体の財政上、重要な制度であるとともに、地方活性化の原点に通ずる重要な制度であると再認識した。ふるさと納税の持続的な発展こそが今後の日本社会には不可欠である。

全会一致で国へ

「ふるさと納税制度の持続的発展を求める意見書」を提出

1 ふるさと納税収入は、現行の寄附金収入としての取扱いを堅持し、一般財源化は行わないこと。



▲波佐見町にある(株)スチームシップ本社を訪問

2 居住地自治体と寄附先自治体との均衡ある財政運営に配慮した制度設計を目指すうえで、まずは居住地自治体の減収を抑制するために、現状は所得に関わらず一律となっている自己負担額の見直しを図るなどの是正を検討すること。

3 地方であればあるほど返礼品の送料がかさむ傾向であることから、返礼品の送付に係る費用については、経費総額5割以下の基準の別枠とし、地域区分別に基準を設定するなど、地方に配慮した基準の見直しを図ること。

付託事件名「有機農業について」

産業建設常任委員会

調査理由

農林水産省は2050年までに有機農業の比率を25%に高める目標を掲げている。世界的な環境配慮型産業への移行のうねりと市場における有機食品への関心の高まりを受け、有機農業に取り組み始めている先進地を調査研修した。

調査概要Ⅰ

宮崎県綾町を視察した。有機農業を基軸に環境への負荷を低減し持続可能な農業の実現を目指されている。有機農業の担い手育成、販路拡大、有機給食の取組みなどを実施されている。

調査概要Ⅱ

熊本県有機農業研究会を訪問し有機食品の市場規模・市場動向、有機農業に対する補助金等について調査研究した。

委員会の意見

綾町による補助金政策（土づく補助金、農機具貸し出し制度等）が有機農業の推進力となっており綾町の取組みに共感を得た。熊本県有機農業研究会では、有機JA



▲有機農業を学ぶ

S以外に有機栽培が不可能な作物等があり、減農薬栽培等での認証取得（認証番号）の活用、県と連携したシールなどの研究がなされており、有意義な調査研修であった。

有機農業は、環境保全、食の安全・安心、農業の持続可能性、消費者ニーズ、政策的支援など、様々な側面から重要性を増している。現在の資材高騰や市場価格の低迷の中で、慣行栽培と有機栽培の道の選択していくかを、農家のみならず行政とJA、茶商組合等が手を携え調査し戦略を練ることが急務と考える。

付託事件名

「議会ICT化の推進に係る調査研究」

議会ICT化の推進に係る特別委員会

調査理由

市民との情報共有の拡充を図る目的として一般質問時のプレゼンテーションツールの利用と情報共有システムについて調査研究した。

調査概要Ⅰ

平成23年11月から一般質問時におけるプレゼンテーションツールの活用を開始されている流山市議会を視察した。

調査概要Ⅱ

情報共有システム「MetaMori Share」の操作性や有用性を実際に体験し調査した。

委員会の意見

一般質問におけるプレゼンテーションツールの活用は、資料を補助的に用いながら発言することで、質問内容の理解が容易となり、議論をより深める効果が期待できる。本市議会でも今後の活用を視野に入れ、補助資料

付託事件名

「議会の活性化を図るための調査研究」

議会活性化特別委員会

調査理由

今後の嬉野市議会の活性化及び議員と市民との関係の発展につなげるために、大分県の由布市及び佐伯市を訪問し調査研究を行った。

調査概要Ⅰ

由布市の議会報告会
市民交換会：議会の仕組み、予算の報告。「どうなる由布市」で意見交換。
意見交換会：女性団体連絡協議会とジュニアリーダーズ（市内在住中高生）と意見交換。

調査概要Ⅱ

佐伯市の議会報告会
毎年5月に中学校区を基礎として開催。結果の公表は、班長が全員協議会で概要を報告し、議員間で協議する。意見や要望等に対する検討の結果は、議会広報等により公表する。

委員会の意見

由布市議会の「いづも

未来議会」は、未来を担う子どもたちが議会の仕組みや政策決定プロセスを体験することにより、政治や地域社会への関心を高め、子どもたちの視点を取り入れた地域づくりに繋がる非常に良い活動である。

佐伯市議会の「議員と語ろう会」は、人口減少問題や消防団不足、学校給食費無償化等をテーマに開催されていた。土日に開催や女性や若者参加を促進する取組みを今後の課題として捉え、広く市民の声を受け入れて、市政に活かす研究をする必要がある。

佐伯市議会の「議員と語ろう会」は、人口減少問題や消防団不足、学校給食費無償化等をテーマに開催されていた。土日に開催や女性や若者参加を促進する取組みを今後の課題として捉え、広く市民の声を受け入れて、市政に活かす研究をする必要がある。

佐伯市議会の「議員と語ろう会」は、人口減少問題や消防団不足、学校給食費無償化等をテーマに開催されていた。土日に開催や女性や若者参加を促進する取組みを今後の課題として捉え、広く市民の声を受け入れて、市政に活かす研究をする必要がある。



▲他市議会の取り組みを学ぶ

閉会中の委員会審査（調査）付託案件

令和7年第1回定例会

付託事件名	付託委員会名	付託期間
災害対策について	総務企画常任委員会	次期定例会まで
健康づくりについて	文教福祉常任委員会	次期定例会まで
温泉資源について	産業建設常任委員会	次期定例会まで
各期の議会の会期日程等の議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項	議会運営委員会	次期定例会まで
議会の活性化を図るための調査研究	議会活性化特別委員会	調査終了まで
議会広報の編集発行に係る調査研究	議会広報編集特別委員会	調査終了まで
市庁舎のあり方に関する調査研究	市庁舎検討特別委員会	調査終了まで
議会ICT化の推進に係る調査研究	議会ICT化の推進に係る特別委員会	調査終了まで

令和7年第2回定例会（6月） 会期日程（案）

開会	5月30日	6月2日、3日	6月9日、10日	6月12日、13日	6月18日
常任委員会					
議案質疑					
一般質問					
討論・採決、閉会					

スマート農業に取り組む 4人の生産者へインタビュー

吉田さん…武雄市の「キュウリの神様」の話がきっかけで興味を持ちました。脱サラして新規就



● 栗原さん

志岐さん…サラリーマンをしていたが、独立したいという思いがあり、トレーニングファーム（以降TF）でトマトの栽培技術を学びました。

森さん…私もサラリーマンから新規就農をしました。やりがいのある仕事だと感じ農業をはじめました。

栗原さん…自立したい気持ちがありTFのトマトの募集を見てやるう

嬉野市では新規就農者の就農用地として施設園芸団地の整備をしています。このスマートアグリ宮ノ元では、現在4名の方がトマトやキュウリの栽培をされています。農業に取り組まれる新規就農者の皆さんへインタビューをさせていただきました。



／ 吉田さん

栗原さん…苗を定植してから約2カ月したら実が赤くなります。1本の苗が約10mに成長します。

吉田さん…花が咲いて実がなつて収穫までは約2週間から10日です。ハウス内を制御して育ちやすい適温の環境づくりをしています。

志岐さん…全て自分でやれるところ。ミスがあればトマトの品質にも影響するが、収穫したときの楽しみがあります。

森さん…就農当初は手探り状態でしたが、トマトの成長や変化には、毎日が発見や気づきの連続です。

栗原さん…農業は個性が出せると感じています。栽培することを研究し楽しんでいきます。

吉田さん…ひとつひとつの苗を手作業で管理しているので、すごく手間がかかりますが、工夫をするなどのやりがいがあります。

Q 真夏のハウスの中は暑くないですか？

栗原さん…排熱性や遮光性いいハウスなのでミスト（水）を回していると外が36℃ぐらいあっても中は3〜4℃は低いです。

吉田さん…キュウリのハウスは、暑いときは40℃を超えます。

Q 農業の魅力は？

志岐さん…全て自分でやれるところ。ミスがあればトマトの品質にも影響するが、収穫したときの楽しみがあります。

森さん…就農当初は手探り状態でしたが、トマトの成長や変化には、毎日が発見や気づきの連続です。

栗原さん…農業は個性が出せると感じています。栽培することを研究し楽しんでいきます。

吉田さん…ひとつひとつの苗を手作業で管理しているので、すごく手間がかかりますが、工夫をするなどのやりがいがあります。



● 志岐さん

取材を終えて

新規就農者の皆さんは、脱サラされて新たに農業に挑戦されています。農業従事者の高齢化が進むなか、30代〜40代の方が取り組む姿には、魅力ある農業の実現と活力ある農業を体現する力強さを感じました。

今後の活躍に期待します。



● 森さん

Q 今後の夢や目標は？

志岐さん…ハウスの増設も考えています。やるだけやっていきたいです！農業の魅力を伝えていきたいです。

森さん…将来的には規模拡大を視野に入れていきます。子どもたちが農業を継ぐことができるようにやっていきたいです。

栗原さん…トマトは量と質を両立させるのが難しいと感じています。まずは収量をしっかりと出せるように取り組みたいです。

吉田さん…新規就農して1年が経ち少しずつですが、TFで学んだことを実践して生産をしています。しっかりと頑張っていきたいです。

議会広報編集 特別委員会

委員長	宮崎良平
副委員長	水山洋輔
委員	梶原睦也
	芦塚典子
	増田朝子
	山口卓也
	古川英子

C COLUMN

平成18年1月1日に旧塩田町と旧嬉野町が合併してから令和8年1月1日で市制20周年を迎える

▼合併まで時間もない中で多くの協議事項に当時の関係者の方々は、大変苦労されたことだろう

▼合併当時の市民の皆さんは、20年後をどのような嬉野市を想像していたのだろうか▼多くの若者は就職や大学、あるいは結婚などでこのまちを離れ、どのような嬉野市が見えているのだろうか▼この20年の間には念願の西九州新幹線も開通し、まちづくりの大きなチャンスにもなった

▼今後は、市民の利便性が高く防災機能が充実した新嬉野庁舎が令和8年秋の利用開始に向け建設が進められている。市制20周年に合わせてのスタートにもなるので、多くの市民の皆さんと共に祝い、次の30周年へと繋げていきたいと思う▼これから10年も市民の皆さんが「住んでよかったまち」「これから住みたいまち」嬉野市になるよう期待したい。

(朝子)